

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	世田谷区喜多見3-14-6
園名	喜多見こどもの家

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光（ライトテーブルの光）

<テーマの設定理由>

ライトテーブルと、玩具やマジックミラーなどの光教材を使用し、ライトテーブルの人工的な光によって、素材の色や形、見え方の変化や、光の反射や屈折に興味を示しながら遊び、光について探求する。

2. 活動スケジュール

- ・0.1.2歳児クラス（16名）参加
- ・月に複数回の実施し、計画に入れていない日でも子どもの様子や、他のクラスの保育活動の状況を見ながら、月に2～3回活動する。
- ・子どもたちがじっくりと取り組めるように、午前と午後の2つのグループに分けて活動を行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・準備したもの
ライトテーブル、光パネルやマジックミラー等の光教材、映像撮影用ゴープロ、編集用PCなど
- ・ライトテーブルの光の効果を高めるためにカーテンを閉め室内を暗くする。
- ・ライトテーブルと光教材を準備し、子どもたちが興味を持って楽しく、主体的に取り組む、新たな気づきにつなげられるよう、保育者が声をかけながら活動を行う。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

初めは個々で探求できるよう、子どもたちの様子を見ながら、教材の量を調整して出すようにした。子どもたちは思い思いに教材をライトテーブルの上に置き、その色や形の見え方の変化に興味を示していた。保育者から子どもたちに、素材を立体的に置くことができることを伝えると、次々と立体物を作り、重なった色や変化について楽しんでいった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動に没頭し展開できる様子を見ながら、手を出しすぎないように見守った。少人数ずつ活動したためそばにいる他児を見ながら同じように作る姿も見られた。「きれい」「〇〇色になった」など重なった色に気づき言葉にするなど発見していたため、保育者も良い学びとなり、子どものどんどん探求し発見していく姿に感動した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動した日の午睡時に午睡担当職員以外がその日のうちに振り返りを行う。少人数に分けたことで落ち着いて活動する事ができた。初めはライトテーブルの上でパネルを重ねながら、「あれ一色が変わった！」などと楽しんでいたが、様子を見て保育者から立体に組み立てられることを伝えると、真剣な面持ちで立体物を作ってライトテーブルに載せ、さらに形や色の変化を楽しむようになった。初めは教材の数を出しすぎず神殿たちの様子を見ていたが、立体物を作り出してからは自主的に好きな形や色の教材を使い、じっくりと楽しんでもらうことができた。また、友達のをを見て真似したり同じような物を作ったりするなど、保護者とだけでなく、子どもたち同士で遊ぶ楽しさも経験することができた。今後も他のパネル形状のものや、提供する教材の種類も工夫し、もっと興味を持って探求できるようにしていきたい。